

首里第二民児協だより

発行／首里第二民児協広報部 令和3年5月



地域の方々に関心持ち、声掛け合って、 思いやりの輪を広げよう

首里第二民生委員児童委員協議会 会長 宮良吉雄

コロナ禍の中、地域の方々とのふれあい及び交流が減っています。2020年11月現在の首里支所管内の65歳以上の人口の構成比は27%、2020年那覇市の一人暮らしの高齢者75歳以上は12,238人、単身世帯割合は33.5%と言われている。一人暮らしの高齢者が増える傾向の中で、周りに助けを求めると相手がない。または、その人を気に掛ける人が誰もいない「社会的孤立」の状態の人が少なからずいると思われます。

地域には様々な課題を抱え日常生活支援ニーズが拡大している状況において、地域の実情を把握し、支援を必要とする人をひとりも取り残さないための情報を把握することが難しくなっています。

首里第二民児協は、「友愛訪問・地域見守りを強化しよう」、「支援を必要とする人々を みつけよう」、「自分の時間の1%は 誰かのために使おう」をモットーとして活動しています

令和2年度の主な活動と今後の取り組み

令和2年度は、コロナ禍の中でこれまでの連携協働の活動が減りましたが、主な活動として、

- ① 社会福祉協議会と共催で食のサービスを必要とする方（延べ百数十名）に折弁当を提供しています。「気に掛けてくれてありがとう。おいしかった。」等の感謝の言葉をいただいています。
- ② 児童生徒の登校時のあいさつ及び交通安全見守りは、当番制で地域のボランティアの方々とほぼ毎日行っています。
- ③ 地域見守り活動を自治会（山川町、桃原町、寒川町、金城町）と協働で行い、安否確認・情報収集をし、月に一度は社会福祉協議会からのティッシュ1箱を配布しながら見守り対象者を訪問しています。
- ④ 地域ふれあいディサービスやふれあいきいきサロン等の運営に自治会及び社会福祉協議会と連携・協力し、日常生活支援や介護予防等について情報交換をしています。
- ⑤ 城西小学校区まちづくり協議会にも協力し、（地域会議・城西小の清掃・道路ボランティア）地域の人々とつながる活動をしています。

今後も地域の実情を把握し、すべての人々と協力し、支えあい、連携・協働で明朗で健全な地域社会づくりに努めます。課題は複雑・多様でいろいろありますが、民生委員のこれまでの活動を充実・強化していくことで、地域の課題に関心・興味をもち、声掛けあって我が事として参画し、丸ごと受け止め、共感し思いやりをもって、人と人、人と資源が世代や分野を越えて丸ごと繋がり、共に支え合い・助け合うことで、地域共生社会を目指す取組の推進になれば、幸いに思います。

民生委員児童委員信条の実行に努めていきます。



先輩を訪ねて！

首里崎山町3・4丁目 比嘉朝文さん

民生委員・児童委員として29年にわたり首里第二民児協で活動しておられる、大先輩の比嘉朝文さんにお話をお伺いすることができましたのでご紹介いたします。

Q.比嘉さんは、平成4年1月9日に民生委員・児童委員（以下「民生委員」という。）を委嘱され29年目に入る大ベテランでございますが、民生委員活動を始めるきっかけはどういうことでしたか。

A.民生委員を始めるきっかけとなったのは地域の自治会長から「民生委員をやってみないか」と声をかけられたことです。当時はPTA活動や交通指導員をしていて、その活動の中で地域福祉を知るようになり、福祉について興味が出てきた時期でもあったので引き受けることになりました。

Q.長い間民生委員活動を行う中で印象に残っていることを教えてください。

A.主任児童員としての期間が長く、多くの事案を他の民生委員や関係機関に繋いできたので印象に残っているのはそんなに多くはありません。

学資資金の相談があり、本人と同行し手続きを行うことがありました。その子は大学を卒業し、結婚し、就職し、子どもでき、その後何年か経ち両親の高齢に伴い首里に戻ったとのことでしたが、偶然に出会ったとき「あの時の比嘉さんですよ！」と声をかけられた時は嬉しかったです。自分が係わった方々がその後幸せな生活を送っていることを聞くと民生委員をやった良かったなと思います。

また、民生委員活動の一環として児童養護施設を訪問することがありました。その時2歳未満の子は乳児院、2歳を超えると養護施設に入ることを知りました。お父さん、お母さんという言葉を知らない小さな子が、乳児院で職員の後ろを「先生！先生！」とついて回る姿をみていたたまれなくなりました。訪問活動を続けるうちに里親制度を知り、平成13年に里親登録を行いました。今でも里親としての活動ができているのは、家族の協力はもちろん、民生委員活動をやってきたおかげだと思っています。

Q.民生委員活動を、難しい、きついと思ったことはありませんか。

A.特にありませんでした。自治会活動もやっていたし、PTA活動、里親もやる中で民生委員活動が難しい、きついと思うことはなかったです。当初から楽しくやることを目標としていたこともあり、また当時のリーダー達も活動を楽しんでいたように思います。

Q.新任民生委員の私は、住んでいる地域と担当する地域が若干違うため、顔が割れてなくやりづらい思いをしています。訪問したとき「あなたは知らない」と不審者扱いされることや、「私は大丈夫だから」と門前払いされたときは落ち込んでしまいます。そのようなことはなかったですか。

A.落ち込むことはなかったです。地域を知る事（勉強する事）が大切かなと思います。私は昭和64年に崎山町に転居してきた出戻り「首里人」ですが、転居してすぐに始めたことは、地域の先輩方に「首里のことを教えてください。」と聞いて回ったことです。

里子にも地域を知ってもらうため、地域の行事やまつりなどには必ず連れて行くようにしました。自分の「じいじ」だよと知ってもらうことで学校でも地域でも楽しく遊べたと思います。地域を知る事でその後の活動に何かと役立っているように思います。



お話を伺って民生委員活動の基本は地域を知ること、長く続けるには活動を楽しむことであることを改めて実感しました。比嘉さんは、他にも自治会長を経験し、「首里三ヶ青少年健全育成会（三青会）」の結成、その活動を引き継いだ「首里三ヶ城南校区まちづくり協議会に」の設立、また豊富な知識を生かした「街角ガイド」としても活動しており、地域福祉に大きな役割を果たしております。

成長した里子が所帯を持った今でも「ただいま！」と訪れることがありますよ。と嬉しそうに話す笑顔が印象的でした。

首里第2民児協の活動 地域見守り・地域ふれあい

赤い羽根共同募金・歳末助け合い運動に参加しました。



フードドライブ事業
に取り組んでいます。



地域見守り交流事業
に協力しました。



Hello 新任紹介

首里汀良町3丁目(汀良市営住宅除く) 仲宗根美智子

[自分の力、自分の時間の1%は誰かのために]

このキャッチフレーズが好きです。

そろそろ定年を迎えるという頃から、なんとなく民生委員をやってみようかなーということを考えていました。そして、思いきって足を突っ込んでみよう! と決心。

しかし、やってみたいがどうすればいいのかまるでわかりません。とりあえず市役所へ電話。包括支援センターを紹介してもらい、民生委員の会長さんへたどり着きました。私にできるだろうかと、不安も抱えていた私は、晴れて民生委員の一員になったとき、ホッとしました。とても楽しそうに、ご夫婦で参加している明るい先輩が迎えてくれたのです。

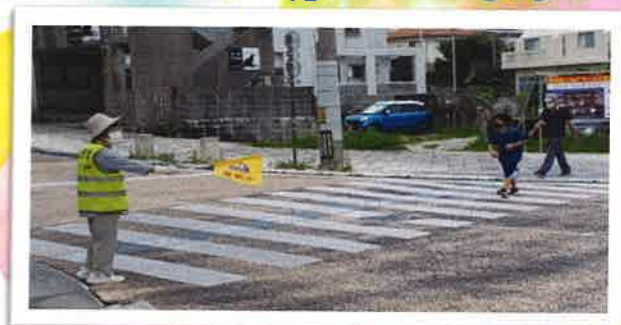
そして、いただいた資料の中に、あのキャッチフレーズを発見。心の中でうなずきました。私の時間の1%を、誰かのために使う、それなら私にも出来ると思いました。



城西小学校及び城南小学校へ
交通安全お守りを贈呈しました。



交通安全見守り・
あいさつ運動を
行っています。



相談
窓口

地域包括支援センター城西 Tel.098-887-7700
那覇市社会福祉協議会 Tel.098-857-7766

民生委員・児童委員募集しています。

社会福祉に理解と熱意があり、地域の実情に詳しく地域住民の生活相談に応じることができる方を募集しています。次の地域は、民生委員・児童委員が欠員です。社会福祉に関心のある方のご応募をよろしくお願い致します。

※山川町3丁目、真和志町、赤田町、鳥堀3丁目・4丁目の一部、汀良市営住宅

那覇市福祉政策課 098-862-9002・那覇市民児連 098-858-5166

(編集後記)



令和2年度は、コロナ禍の影響で事業の中止や訪問活動の自粛など、思い切った活動ができなかったですが、交通安全・見守りあいさつ運動や交通安全お守りの贈呈、クリスマスケーキ・弁当配布の地域見守り活動ができたことは嬉しいことでした。

退任された皆様ご苦労様でした。活動の機会が少なかった新任の皆様は、戸惑うことが多かったと思います。コロナ禍での地域に寄り添う活動とは、考えてみたいです。

(広報部会)